

建物概要		敷地面積		評価の段階	
建物名称	GRAN PASEO舎人	敷地面積	506 m ²	評価の段階	運用段階評価
建設地	東京都足立区	建築面積	354 m ²	評価の実施日	2026年3月2日
用途地域	第一種中高層住居専用・第一種住居地域、準防火・防火地域	延床面積(評価対象分)	1,561 m ²	作成者	福士 明子
建物用途	共同住宅	階数	地上5F	不動産評価員番号	ふ-001189-27
竣工年月	2021年10月22日	構造	RC造	確認日	2026年3月16日
直近の大規模改修実施年月	—	平均居住人員	51 人	確認者	福士 明子
部分評価の場合の特記事項	—	年間使用時間	8,760 時間/年	不動産評価員番号	ふ-001189-27

評価結果		ホールライフカーボンの評価	
73.3 /100	合計	評価しない	
(得点 / 満点)			
S ランク:★★★★★	≧ 78		
A ランク:★★★★	≧ 66		
B+ランク:★★★	≧ 60		
B ランク:★★	≧ 50		
ポイントは小数点第1位までの表示とする		取組項目数: A1-A5 <input type="text"/> B1,B3-B5 <input type="text"/>	
		B6-B7 <input type="text"/> C1-C4 <input type="text"/>	

1. エネルギー/温暖化ガス		指標 (*は参考値)		評価値	
評価	最大加点	必須項目	:省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運用管理体制	一次エネルギー(目標値)	202 MJ/m ² ・年
適合	1	根拠等	実績値より省エネ基準への適合、年間実績を把握、ベンチマーク比較実施、次年度省エネ目標設定	一次エネルギー(計画値)	203.7 MJ/m ² ・年
15.0	20/15	1.1 使用・排出原単位(計算値)		二次エネルギー(*)	20.9 kWh/m ² ・年
		根拠等	実績値より	GHG排出量(*)	20.7 kg-CO _{2eq} /m ² ・年
5.0	5	1.2 使用・排出原単位(実績値)	共用部の評価	一次エネルギー(実績値)	203.7 MJ/m ² ・年
		根拠等	エネルギー消費量実績値一覧参照 二次エネルギー=一次エネルギー/0.976 GHG排出量を算出する係数は0.429kg-CO ₂ /kWh(電気)	二次エネルギー(*)	20.9 kWh/m ² ・年
1.0	-/5	1.3 省エネルギー(仕様評価)	専有部の省エネ対策	GHG排出量(*)	20.7 kg-CO _{2eq} /m ² ・年
		根拠等	3)	導入された対策項目数	1.0 項目
3.0	5	1.4 自然エネルギー(間接利用)		利用率	%
		根拠等	導入していない		
24.0	30.0	合計			

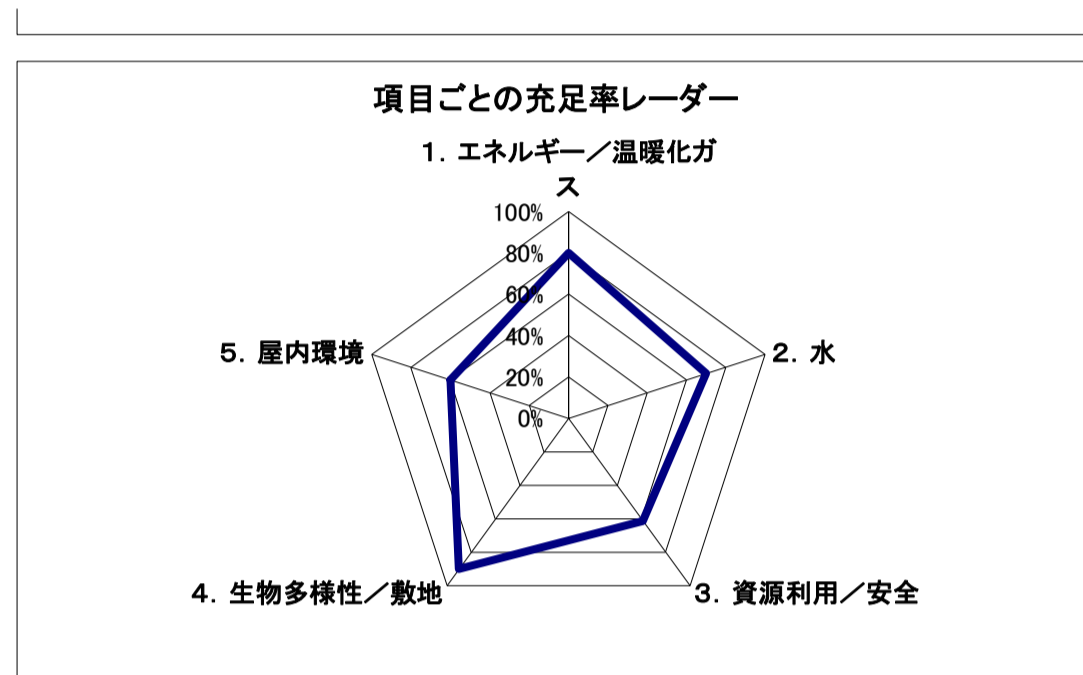
2. 水		指標		評価値	
評価	最大加点	必須項目	:目標設定、モニタリング、運用管理体制	水使用量(目標値)	9.9 L/m ² ・年
適合	0	根拠等	水消費実績を把握、次年度省エネ目標設定	水使用量(実績値)	10.0 L/m ² ・年
2.0	5	2.1 水使用量(計算値)	評価しない	取組数	1 項目
		根拠等	2)		
5.0	5	2.2 水使用量(仕様評価)		水使用量(実績値)	10.0 L/m ² ・年
		根拠等	2)		
7.0	10	2.3 水使用量(実績値)			
		根拠等	水使用量実績値一覧参照		
7.0	10	合計			

3. 資源利用/安全		指標		評価値	
評価	最大加点	必須項目	:新耐震基準への適合またはIs値、If値	なし	
適合	5	根拠等	新耐震基準に適合		
3.0	5	3.1 高耐震・免震等	3.1.1と3.1.2の点数の高い方で評価		
3.0		3.1.1 耐震性			
		根拠等	建築基準法に定められた耐震性を有する		
3.0		3.1.2 免震・制震・制振性能			
		根拠等	導入していない		
3.0	5	3.2 再生材利用率・廃棄物処理抑制	3.2.1と3.2.2の平均で評価する		
		3.2.1 再生材利用率	①と②の平均で評価する		
3.0		① 躯体材料	用いていない	リサイクル材目数(非構造材)	0 品目
1.0		② 非構造材料	用いていない	取組数	4 ポイント
4.0		3.2.2 廃棄物処理抑制			
		根拠等	1)、2)、3)、6)		
3.0	5	3.3 躯体材料の耐用年数		経過年数+今後の想定耐用年数	0 年
		根拠等	建築基準法に定める対策が講じられている	3.4.1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の平均	
3.2	5	3.4 主要設備機器の更新必要間隔/設備の自給率向上/維持管理/バリアフリー			
4.0		3.4.1 主要設備機器の更新必要間隔		更新年数の平均値	17 年
		根拠等	計算式参照	自給率向上の取組数	0 項目
1.0		3.4.2 設備(電力等)の自給率向上		維持管理に関する取組数	13 ポイント
		根拠等	特になし		
5.0		3.4.3 維持管理			
		根拠等	1)~6)		
3.0		3.4.4 バリアフリー対策			
		根拠等	バリアフリー法の建築物移動等円滑化基準項目の半分以上を満たしている		
12.3	20	合計			

4. 生物多様性/敷地		指標		評価値	
評価	最大加点	必須項目	:特定外来生物・未判定外来生物・生態系被害防止外来種を使用しない	なし	
適合	10	根拠等	特定・未判定外来生物、生態系被害防止外来種を使用していない		
10.0	10	4.1 生物多様性の向上		②取組表による場合のポイント数	3 ポイント
		根拠等	1)、3)、5)		
0.0	0	4.2 土壤環境品質・ブラウンフィールド再生			
		根拠等	土壤汚染対策法に基づく汚染除去等の区域指定がない		
5.0	5	4.3 公共交通機関の接近性			
5.0		4.3.1 公共交通機関の接近性		鉄道駅またはバス停からの距離	8 分圏内
		根拠等	舎人駅 徒歩2分		
		4.3.2 交通結節点への接近性、敷地周辺への配慮	評価しない		
3.0	5	4.4 自然災害リスク対策		リスクの合計数	3 種類
		根拠等	リスクの合計数は3種あり、2種については有効な防災対策を実施している		
18.0	20	合計			

5. 屋内環境		指標		評価値	
評価	最大加点	必須項目	:建築物衛生管理基準の準拠または質問票への適合	なし	
適合	20	根拠等	質問票への適合		
1.0	3	5.1 自然利用			
1.0		5.1.1 屋光利用	5.1.1の点数×2/3+5.1.2の点数×1/3		
		5.1.1.1 自然採光		開口率	0 %
		根拠等	レベル2を満たさない	屋光利用設備	0 種類
1.0		5.1.1.2 屋光利用設備			
		根拠等	屋光利用設備がない		
1.0	3	5.1.2 通風・排熱			
		根拠等	居室の自然換気開口がある		
2.0	3	5.1.3 眺望・ゆとり		天井高	0 m以上
		根拠等	計算式参照		
1.0	2	5.2 健康・快適			
		5.2.1 暑さ・寒さ			
		根拠等	レベル2を満たさない		
2.0	2	5.2.2 主要な居室の冷房・暖房			
		根拠等	居室に冷暖房装置を有している		
2.0	2	5.2.3 化学汚染物質対策・適切換気			
		根拠等	化学汚染物質を抑える建材を用いている		
1.0	2	5.2.4 騒音・遮音			
		根拠等	レベル2を満たさない		
2.0	3	5.3 防犯対策			
		根拠等	エントランスにセキュリティシステムの設置、かつITVカメラ監視		
12.0	20	合計			

6. ホールライフカーボンの評価[任意]		指標		評価値	
評価	最大(加点なし)	取組数	A1-A5		項目
5			B6-B7		項目
			B1,B3-B5		項目
			C1-C4		項目
↑評価しない場合は空欄					



環境性能の特徴

- ・エネルギー使用の計算値/実績値、水使用の実績値が高得点であり省エネルギー性能が高い。
- ・新耐震基準を満たしている。
- ・敷地内の生物多様性向上に取り組んでいる。
- ・徒歩2分圏内に交通公共機関(鉄道駅)があり利便性が高い。
- ・維持管理が適切に行われており、屋内環境も良好である。